

社長メッセージ



世界の産業と人々の生活を支える エッセンシャルサプライヤーとして、 引き続き社会の持続的成長の実現に 貢献してまいります。

1年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の流行の中で、私たちは多くのことを学び、さまざまな思索と実践を重ねてきました。世界中が感染症に立ち向かい、各国ともさまざまな規制や行動制限が施される中で、社会、経済、そして市場は変容を余儀なくされました。それとともに新たな展開も生じてきました。その中には一過性のもものもありますが、流行の終息後に残るものも少なくないでしょう。この期間を通じて当社は変化に的確に対処し、適応力を発揮してきました。その背景には、前例のない状況や難問に直面する中でそれぞれの業務に集中し続けてきた従業員の存在があります。当社にとって従業員はまさにかけがえのない存在であり、私は大変誇りに思っています。

また、今回の経験は当社の事業構成が社会や経済環境の変化に対しても優れた対応力を備えていることを証してくれました。ただし、私はその対応力が今後の変化にも十分なものであるとは捉えていません。この力を強化し更に磨きをかけ実効性を高めていきます。当社ではさまざまな変化を糧として、より一層の成長を図っていきます。同時に、当社は従来にも増してお客さまとの関係を緊密にしています。すべてのお客さまに最高水準の品質、技術を提供することを通じて、お客さまの業務の遂行をお手伝いする最も信頼できるサプライヤーでありたいと考えて

います。今後とも、お客さまが直面している課題の解決に資する多くの製品を開発していきます。

近年、主要国は温室効果ガス排出量の削減目標を設定し、カーボンニュートラルの達成に向けた動きを加速しています。当社の事業には、それ自体が温室効果ガス排出量の削減に役立つものが揃っています。これらの事業を拡充し、さらに目標に適合したものにしていこう努めていきます。また、環境負荷を抑えつつ人間社会の持続的な発展とその質の向上が強く求められていますが、その実現には効率性を極めていくことが不可欠です。その実現に向けて、当社は重要な役割を担うことができるものと確信しています。当社の多くの製品が産業と人々の暮らしに貢献し、それらが用いられれば用いられるほど持続可能な社会の実現に寄与できるように取り組みます。さらに、温室効果ガス排出量の削減に役立つ技術を可能な限り多く、かつ速やかに導入していきます。世界の産業と人々の生活を支えるエッセンシャルサプライヤーとしての役割を果たします。

グローバル化は再評価され変容し、米中対立に起因する世界経済のデカップリング(切り離し)が起こり得る情勢下で、それが如何に展開しようと、エッセンシャルサプライヤーとして重要な役割を継続して果たすべく、柔軟かつ迅速に取り組みます。

続いて事業セグメントの要旨を説明します。

塩化ビニル樹脂(塩ビ)では、住宅やインフラ向けの需要の増加に加え、環境に対する関心の高まりにより、主要市場での需要の拡大が見込まれています。塩ビは、機能面に加え環境面からも選好される素材です。北米におけるシンテック社の増設は今年半ばに完工し稼働を予定しています。並行して次の増強工事にも着手しました。

シリコン事業では、最終製品の生産能力増強を進め、全世界のお客さまへの品揃えの拡充に取り組んでいます。お客さまの課題解決に貢献する製品と用途の開発をより一層推し進めます。

セルロース事業では、これまで注力してきました製剤用や産業用に加え、食品用でも需要の広がりに応じていきます。農産物の収穫向上に貢献するため、フェロモン製品の品揃えを増やします。森林保護に寄与するフェロモン製品も加えます。ポパール他の製品の新規用途においても拡販を推進します。

半導体デバイスに対する需要があらゆる分野でたいへん強く、半導体の不足が続いています。半導体が戦略物資に位置づけられる中、サプライチェーンの要諦の一角として、さらなる微細化を支える最高の品質とともに製品の安定供給を行います。いわゆる経済の「脱物質化」(ディマテリアライゼーション)に向けたデジタル化に貢献します。

露光関連分野では、進行する微細化、高集積化、多層レジストシステム、先端パッケージングに開発速度を高めて即応していきます。お客さまからの品質や供給量の要望に適時応えるために生産能力の増強計画を加速します。レア・アースマグネットは、自動車(特に在来車に比べ概ね10倍多く希土類磁石を用いる環境対応車)、ファクトリーオートメーション、データセンター、そして風力発電向け用途

が大きく伸長しています。電動モーターや駆動のすべての分野・用途に当社技術を展開します。また希土分離精製技術を積極的に活用していきます。

5G対応製品では、開発と量産対応を加速します。マイクロLED部材、リチウムイオン電池性能向上剤、異種基板材料製品も立ち上げます。

要約しますと、当社は3つの流れを捉えることで成長してまいります。その3つの流れとは、半導体需要の増勢、カーボンニュートラルの進展、そしてインフラや住宅の機能向上に対する需要の高まりです。

当社は株主の皆さまへの還元特に留意しています。1株当たり250円の年間配当金を公表しましたが、これは当社の歴史の中で最も高い配当金額です。

これまでお客さま、株主の皆さま、地域社会に実施してきましたことをこれからも継続していくには、会社が成長し続けることが必須です。事業領域をさらに広げるために多岐にわたる新たな取り組みを進めています。当社は引き続きお客さまとお客さまのニーズにお応えすることに注力し企業統治を適切に行うことで、株主の皆さまに、そして地域社会への責任を果たしてまいります。

株主の皆さまからお寄せいただいている信頼とお客さまのパートナーシップに厚く御礼申し上げますとともに、信越化学グループに働く皆さんの業務への献身的な取り組みに心から感謝申し上げます。

代表取締役社長

伊藤 健二